

合同開催

明治安田総合研究所



明治安田総合研究所 特別フォーラム2025 Hope Treeフォーラム2025

親が重い病気になったとき、 子どもがそれを理解し、 向き合えるよう支えるには



日時

2025年11月14日(金)

15:30~17:30 (開場15:00)

事前申込制

無料

※ エレベーターが混み合いますので、お時間に余裕をもって
お越しください

対象

どなたでも (患者さん・保険会社関係者・一般の方・
医療関係者・教育関係者など)

会場

明治生命館 講堂
(アクセス：東京都千代田区丸の内2-1-1 7階)

定員

250名 (定員になり次第締切)



地図



参加申込は
こちら

大人が重い病気と診断されると、家族全員が影響を受けます。治療計画を立てたり、病気による影響に対応したりといった大きなストレスの中で、子どもたちは家族や友人、そして医療・福祉などの専門職からも十分な配慮や支援を受けられないことが少なくありません。一方で、親にとって最大の関心事の一つは、診断について子どもにどう伝えるかです。深刻で、場合によっては命に関わる病気を説明することはとても難しく、中には子どもに話さないでおこうと考える親もいます。

しかし研究によれば、正しい情報と、状況に向き合うための方法を得られた子どもは、何も知らされていない子どもよりもずっと上手にこの家族の危機を乗り越えられることが分かっています。このフォーラムでは、医療や教育などさまざまな分野の専門職の方から、患者さんやご家族まで、どなたでも、親の重い病気に直面する子どもを支えるという難しい役割に取り組むための、具体的な情報と実践的な支援を得ることができます。



主催 (株) 明治安田総合研究所

共催 特定非営利活動法人 Hope Tree

協賛・協力 明治安田生命保険相互会社

後援 随時更新

運営事務局・お問合せ

明治安田総合研究所 開発支援部ソーシャルサポートチーム
電話：03-6261-7241 メール：oncology.acp.myri@gmail.com

NPO 法人 Hope Tree メール：info@hope-tree.jp

主な内容

- なぜ、どのようにして子どもに親の病気を伝えるのか
- 子どもが適切な情報を得られなかった場合に起こりうること
- 子どもの年齢に応じて、難しい話題をどのように伝えるか
- 治療が変わった理由や、親の体調の変化が何によるものか（治療の副作用なのか、病気の進行なのか）を子どもが正しく理解し、受け止められるように支える方法
- 子どもがこれから経験するかもしれないつらい出来事に、心の準備ができるよう支える方法
- コーピング（対処）スキルの教え方
- 深刻な診断であっても、子どもが希望と、気持ちを支えるしなやかな強さを保てるようにする方法
- 必要に応じて、子どもが親の最期の時期に向き合えるよう支える方法



忘れないでください。子どもは家族の一員であり、家族に深刻なことが起きているとき、子どもは必ず気づいています！ 親御さんが誠実に、そして子どもの心に配慮しながら事実を伝えることで、信頼や回復力、家族のつながりを築くことは十分に可能です。参加すると、子どもを支えるための具体的なスキルを学び、自信を持って関われるようになります。保険関係者をはじめとする専門職の方も、ご自身が関わるご家庭にこれらの知識や方法を伝えることができるようになります。

講師紹介

逐次
通訳



キャスリーン・マックキュー

(Kathleen McCue, MA, LSW, CCLS)

臨床心理学修士、認定チャイルド・ライフ・スペシャリスト、ライセンス取得済ソーシャルワーカー。病気の子どもと家族への心理社会的支援に43年間従事し、クリーブランド・クリニックでは全米初の成人患者の子ども支援プログラムを立ち上げました。喪失や死別、トラウマ、病気が子ども・家族・専門職に与える影響に関する講演、著書、専門誌への論文発表多数。



キム・フライヤー

(Kim Fryar, MS, MEd, CCLS)

認定チャイルド・ライフ・スペシャリスト。Wonders & Worriesで臨床プログラムディレクター等を経て、現在は全米プログラムディレクターとして家族・専門職への支援を全国展開。教育プログラム開発や講演活動を通して、重い病気を抱える家庭を支援。

Wonders & Worriesについて

Wonders & Worriesは、親が重い病気やけがを負った際に、子どもやティーンエイジャーが自分らしく成長できるよう、専門的な支援を無償で提供する米国の非営利団体です。